

## 市ホームページ掲載内容

第3次雲南市総合計画基本計画(案)に関するパブリック・コメント(意見募集)の結果及び意見・提案に対する市の考え方について

1. 公開した資料 第3次雲南市総合計画基本計画(案)
2. 意見募集期間 令和6年11月1日(金)～令和6年12月2日(月)
3. 資料等公開場所 市役所政策企画部政策推進課、各総合センター自治振興課及び市民サポート課、雲南市ホームページ
4. 意見提出人数 6人
5. 意見提出件数 7件
6. お寄せいただいたご意見・ご提案と市の考え方

No.	提出されたご意見・ご提案要旨	ご意見・ご提案に対する市の考え方
1	<p>施策:どこでも安心して暮らせるまちについて</p> <p>【JR木次駅周辺の活性化について】</p> <p>現在の木次体育館横に静止保存されている蒸気機関車(C56108)は、昭和 12 年に木次線が全通と共に配属され、沿線の物流の担い手、陰陽の連絡線や地域の通勤通学の足を確保するために約 36 年間走行し続けてきました。</p> <p>また、JR木次駅付近の再開発事業に対し、雲南市蒸気機関車C56108保存会として駅舎を多目的用途を持った雲南市の中心的施設として、さらにC56108をJR木次駅付近への移転保存とシェルター(保存用屋根)の設置を要望しています。C56108をJR木次駅前のモニュメントとして集まる住民や観光客を含む鉄道ファンの賑わいこそが木次線の末長い存続に必要な不可欠なものと考えます。</p>	<p>蒸気機関車(C56108)につきましては、雲南市蒸気機関車C56108保存会により、保存や公開等をいただいているところです。</p> <p>ご要望をいただいている蒸気機関車の移転とシェルターの設置につきましては、JR木次駅周辺整備の協議を行う中で、いただいたご意見も参考にしながら、今後、財源確保や事業効果等を十分に検証したうえで、事業化の可否も含めて検討を進めて参ります。</p>
2	<p>施策:どこでも安心して暮らせるまちについて</p> <p>【JR木次駅周辺の活性化について】</p> <p>・JR木次駅周辺整備に合わせ、駅周辺に簸上鉄道や木次線の資料を収集、保存し、学ぶことのできる鉄道資料館のようなものができるか。今なら、愛好家や鉄道OBなど、資料提供等で協力する方も多いと考えます。</p>	<p>これまでの木次線の歴史や文化を保存・継承していくことは、木次線の利用促進の面からも大変重要であると認識しています。</p> <p>JR木次駅周辺整備の協議を行う中で、いただいたご意見も参考にしながら、今後、財源確保や事業効果等を十分に検証したうえで、事業化の可否も含めて検討を進めて参ります。</p>
3	<p>施策:どこでも安心して暮らせるまちについて</p> <p>【JR木次駅周辺の活性化について】</p>	<p>JR木次駅周辺の活性化の検討を進めていくうえで、地元関係者や民間事業者などのご協</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木次線の魅力化には駅舎とチェリヴァホールが一体化することにより経済、文化、交流、楽しみ、安心安全など魅力ある多機能を備えた拠点になることが重要であり、第3次総合計画の施策にもふさわしいと考えます。</li> </ul>	<p>力を得て、複合的な観点から、多くの方に来ていただくものとする必要があると考えています。</p> <p>JR木次駅周辺整備の協議を行う中で、いただいたご意見も参考にしながら、今後、財源確保や事業効果等を十分に検証したうえで、事業化の可否も含めて検討を進めて参ります。</p>
4	<p>施策:どこでも安心して暮らせるまちについて【JR木次線の利用促進について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JR木次線のスイッチバックなど発信し、地域の魅力ある資源としてインバウンド、観光振興など雲南市の発展に活用できないか。</li> <li>・江上英樹さんが作り上げた木次線スイッチバックのジオラマは、鉄道ファンの評価が高い。このジオラマを木次線利活用推進協議会で活用するなど、もっと沿線自治体で活用すべきではないか。</li> </ul>	<p>インバウンド需要が高まる中、都市部では体験することができない木次線ならではの魅力をさらに多くの方に知ってもらい、利用してもらうことが必要だと考えています。木次線利活用推進協議会を中心に、沿線地域の皆様や木次線を応援いただいている皆様のご協力を得ながら、イベントの開催やホームページ、SNSなどでの魅力の情報発信を行い、木次線及び沿線の活性化に取り組んで参ります。</p>
5	<p>施策:どこでも安心して暮らせるまちについて【JR木次線の利用促進について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在赤字の地方ローカル鉄道は国の再構築協議会の仕組みができ、この10年以内に木次線も取り上げられる可能性が高い。課題解決と発展に変える工夫を今こそすべき。</li> <li>・木次線利活用推進協議会をリードし、全国の鉄道ファンの知恵を活用し、官民連携のネットワーク作りを目指す木次線愛に溢れた市役所チームを今こそ結成すべきではないか。</li> </ul>	<p>本年5月に木次線の出雲横田から備後落合間の公共交通の在り方についてJR西日本から沿線自治体に協議の申し入れがありました。雲南市及び木次線利活用推進協議会の事務局として、危機感を持ち、乗車率向上の取り組みに合わせ、木次線の必要性を訴えていく必要があると考えています。JR木次駅周辺の活性化の検討に合わせ、多様な意見を取り入れながら沿線住民及び自治体と連携し、利用促進に向けた取り組みを展開して参ります。</p>
6	<p>施策:どこでも安心して暮らせるまちについて【JR木次線の利用促進について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木次線対策には、全国の鉄道ファンの応援が必要であり、江上英樹さんがクラウドファンディングを活用し、木次線沿線を舞台にした木次線マンガプロジェクトをスタートさせると聞いている。このような木次線対策の取り組みを第3次総合計画のプロジェクトとして取り上げ、官民連携して木次線存続対策として成果を出してほしい。</li> </ul>	<p>江上様をはじめとした木次線を応援くださる方々の取り組みは、雲南市として大変心強いもので、感謝を申し上げるところです。また、昨年度から木次線応援団を募集し、現在約200名の方々に入会いただいております。こうした応援団の皆様や民間事業者と連携した取り組みは、今後さらに重要になると考えています。木次線を公共交通及び観光資源として、様々な方々と連携した取り組みとなるよう検討を進めて参ります。</p>
7	<p>施策:みんながずっと元気なまちについて</p> <p>障害福祉サービス事業所への通所にかかる</p>	<p>障害福祉サービスを提供する事業所においては、公共交通機関等での通所が可能な場合</p>

<p>通所費用の助成を要望します。</p> <p>就労支援B型は最低賃金を下回っている。手当の施しが必要だと思う。昨今、物価高騰もある中で、交通費で賃金が目減りする。</p> <p>奥出雲町ではこの制度がある。雲南市にも是非この機会に創設していただきたい。</p>	<p>を除き、送迎サービスを行っておられます。このことから通所にかかる交通費助成は行っておりません。なお、身体障害者手帳等に準じた方であることの確認が得られた場合は、市民バスの減免対象となりますので、市の担当窓口までお問い合わせください。</p>
--	---